

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先） 岡崎市長

令和6年3月1日

団体名 自然・環境学習実践隊

代表者 秋元 義也

構成員 11人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

身近な自然とふれあう体験活動を通して、自然にどのようにアプローチすることが、地球環境の保全や維持可能な社会の構築につながるのかを考え、環境保全に取り組む意欲を高め、責任ある行動ができる人間育成を目指すことを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益 ^{*1} を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員 ^{*2}		
5月14日	岡崎市ホテル学校	市民（講座参加者）	25人	5人	◆令和5年度ホテルマスターファミリー講座 第1回 第1部：「ホテルについて知ろう」 第2部：「ホテルの里の昆虫や植物を調べよう」 ・ホテルの生態や生息環境学習	ホテルの生態や生息環境への理解を深めてもらった。
6月11日	岡崎市ホテル学校	市民（講座参加者）	25人	5人	◆令和5年度ホテルマスターファミリー講座 第2回 第1部：「ホテルの発光と生息環境を調べよう」 第2部：「ゲンジボタルの観察」 ・ホテルの生態や行動の学習	ホテルの生態や活動への理解を深めてもらった。
7月16日	岡崎市ホテル学校	市民（講座参加者）	25人	5人	◆令和5年度ホテルマスターファミリー講座 第3回 第1部：「川の生き物を調べよう」 第2部：「夏休みの自由研究基礎講座」	ゲンジボタルが発生する川には、他にどんな生き物がいるのか、水質との関係などについて理解を深めてもらった。 夏休みの自由研究の考え方、進め方などへの理解を深めてもらった。
7月30日	岡崎市ホテル学校	市民（講座参加者）	22人	3人	「ホテルの川生き物調査隊」	ゲンジボタルの幼虫が暮らす川には、他にどんな生き物がいるのか知ってもらえた。水質と生き物の関係について理解を深めてもらった。
8月6日	岡崎市ホテル学校	市民（講座参加者）	25人	6人	◆令和5年度ホテルマスターファミリー講座 第4回 「夏休みの自由研究に取り組もう」 自由研究へのアドバイス	各自が考えてきた自由研究へのアドバイスをを行い、ある程度まとめることができた。

8月11日	岡崎市ホテル学校	市民（講座参加者）	25人	4人	「ホテルの里トンボ探検隊」	トンボの生態や特徴、鳥川町で見られるトンボについて理解を深めてもらえた。トンボを通して、身近な自然や生き物に興味を持ってもらえた。
9月25日	岡崎市ホテル学校	市民（講座参加者）	25人	6人	◆令和5年度ホテルマスターファミリー講座 第5回 第1部：「ホテルの里を散策して自然からの恩恵を体感しよう」 第2部：「環境教育プログラム体験と活動の総まとめ」	各種環境教育プログラムを体験しながら鳥川ホテルの里を散策し、自然からの恩恵を体感してもらえた。 活動の総まとめを行い、意見交換することができた。
11月12日	岡崎市ホテル学校	市民（講座参加者）	25人	3人	「ホテルの里秋の虫・植物調査隊」	秋のホテルの里で見られる昆虫や植物を知ってもらうことができた。身近な自然や生き物に興味を持ってもらえた。
2月14日	岡崎中央総合公園	市民（嫩幼稚園年長クラス）	80人	2人	「岡崎中央総合公園自然体験学習」	身近な自然への興味を持ってもらえた。

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

年間を通して身近な自然を題材とした活動を展開し、多くの人に自然や生き物に興味を持ち、自然を守る意識を高めてもらえることができた。

各活動を通し、会員の知識や経験を高めることができた。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。